



平成28年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年3月31日

上場会社名 テクノアルファ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3089 URL http://www.technoalpha.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青島 勉
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室マネージャー (氏名) 前田 資之 (TEL) 03(5745)9722
 四半期報告書提出予定日 平成28年4月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年11月期第1四半期の連結業績(平成27年12月1日～平成28年2月29日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年11月期第1四半期	518	△24.8	△59	—	△44	—	△27	—
27年11月期第1四半期	688	△27.5	0	△99.7	14	△90.4	1	△98.0

(注) 包括利益 28年11月期第1四半期 △42百万円 (—%) 27年11月期第1四半期 △12百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年11月期第1四半期	△15.72	—
27年11月期第1四半期	0.87	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年11月期第1四半期	1,986	1,215	61.2
27年11月期	1,905	1,301	68.3

(参考) 自己資本 28年11月期第1四半期 1,215百万円 27年11月期 1,301百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年11月期	—	0.00	—	25.00	25.00
28年11月期	—	—	—	—	—
28年11月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年11月期の連結業績予想(平成27年12月1日～平成28年11月30日)

平成28年11月期第2四半期および通期の連結業績予想については、現時点で合理的な算定が困難なため、開示しておりません。第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想については、予想の開示が可能となった時点で速やかに開示します。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名)、除外 — 社(社名)
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年11月期1Q	2,316,000株	27年11月期	2,316,000株
-----------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

28年11月期1Q	550,110株	27年11月期	550,110株
-----------	----------	---------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年11月期1Q	1,765,890株	27年11月期1Q	2,015,890株
-----------	------------	-----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、円安基調から一転しての円高傾向、株価の下落、原油安など先行きの不透明感が一層増しております。このような状況のもと、当社グループは、既存の事業に加え、主力商品である半導体製造装置の分野に関連した自社製品の開発・拡販、またグループ各社の協業による新製品の開発・拡販、新規商材の開発に取り組んで参りました。しかしながら、主力商品である半導体製造装置の販売減速、当社が納入した装置の稼働率の低下による消耗品の販売減等により、売上、利益ともに低調に推移致しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は518,101千円（前年同四半期比24.8%減）、営業損失は59,618千円（前年同四半期は、287千円の営業利益）、経常損失は44,584千円（前年同四半期は、14,905千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は27,776千円（前年同四半期は、1,764千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①エレクトロニクス事業

当社が、主力商品であるワイヤボンダーに代表される半導体製造装置やそれに付随する消耗品等を海外より仕入れ、搬送装置等の付加価値を加えるなどした上で、国内の顧客に販売しております。また、エレクトロニクスメーカー向けの材料、大学・研究所向けの研究開発用の小型の機器等を国内外から仕入れ、販売しております。当第1四半期連結累計期間においては、半導体製造装置の販売減速、主要顧客における当社が納入した装置の稼働率の低下による消耗品の販売減等により、売上、利益ともに低調に推移致しました。

この結果、売上高は339,564千円（前年同四半期比18.0%減）、営業損失は1,411千円（前年同四半期は、18,997千円の営業利益）となりました。

②マリン・環境機器事業

当社が、大型船舶向けの救命艇および救命艇昇降装置等の船用機器を国内メーカーより仕入れ、国内外の造船所に販売しております。また、液体の濃縮・分離を行うためのフィルター等の環境機器を海外より仕入れ、エンジニアリングを行った上で国内の顧客に販売しております。船用機器については、前連結会計年度以前より受注した案件が予定どおりに売上げました。一方、環境機器については検収時期のずれ等もあり、売上、利益ともに低調に推移致しました。

この結果、売上高は48,090千円（前年同四半期比50.0%減）、営業利益は2,609千円（前年同四半期比89.3%減）となりました。

③S I事業

連結子会社である株式会社ペリテックが、計測・検査システムの受託開発を行うとともに、主に計測・検査に係る自社製品を企画・開発し、販売しております。当第1四半期連結累計期間においては、売上、利益ともに低調に推移致しました。

この結果、売上高は70,301千円（前年同四半期比52.8%減）、営業損失は14,699千円（前年同四半期は、351千円の営業利益）となりました。

④サイエンス事業

連結子会社である株式会社ケーワイエーテクノロジーズが、主に理化学機器分野の研究開発、製造、仕入れを行い、顧客に販売しております。当第1四半期連結累計期間においては、売上面では前年同期に比較し好調に推移致しましたが、利益面ではのれんの影響等により低調に推移致しました。

この結果、売上高は60,145千円（前年同四半期比102.1%増）、営業損失は1,832千円（前年同四半期は、3,499千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,986,568千円(前連結会計年度末比80,743千円の増加)となりました。これは主に、受取手形の増加36,195千円、商品の増加44,275千円、仕掛品の増加65,722千円、電子記録債権の増加1,296千円があった一方で、現金及び預金の減少11,444千円、売掛金の減少30,453千円、投資有価証券の減少25,060千円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,215,516千円(前連結会計年度末比86,157千円の減少)となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失27,776千円の計上及び配当金の支払44,147千円が行われた一方で、その他有価証券評価差額金の減少10,085千円及び繰延ヘッジ損益の減少4,148千円によるものであります。

(自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は61.2%(前連結会計年度末比7.1ポイント減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月期の連結業績予想については、現時点で合理的な通期の業績予想の算定が困難なため開示しておりません。第2四半期連結累計期間および通期の業績予想については、予想の開示が可能となった時点で速やかに開示します。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	271,548	260,104
受取手形	77,885	114,081
電子記録債権	11,292	12,588
売掛金	445,599	415,145
有価証券	—	432
商品	282,072	326,348
仕掛品	27,468	93,191
その他	72,612	79,220
貸倒引当金	△156	△465
流動資産合計	1,188,323	1,300,648
固定資産		
有形固定資産		
有形固定資産	196,765	194,792
無形固定資産		
のれん	162,019	152,424
その他	20,112	20,430
無形固定資産合計	182,132	172,854
投資その他の資産		
投資有価証券	272,933	247,872
その他	65,670	70,400
投資その他の資産合計	338,603	318,273
固定資産合計	717,501	685,920
資産合計	1,905,825	1,986,568
負債の部		
流動負債		
買掛金	180,193	197,571
短期借入金	150,000	320,000
未払法人税等	17,923	711
賞与引当金	—	15,150
前受金	3,015	360
その他	102,034	118,422
流動負債合計	453,166	652,216
固定負債		
役員退職慰労引当金	88,919	56,350
退職給付に係る負債	51,827	49,599
資産除去債務	2,910	2,912
その他	7,327	9,973
固定負債合計	150,984	118,835
負債合計	604,151	771,051

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,210	100,210
資本剰余金	121,646	121,646
利益剰余金	1,727,586	1,655,663
自己株式	△657,326	△657,326
株主資本合計	1,292,116	1,220,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,881	△204
繰延ヘッジ損益	△324	△4,472
その他の包括利益累計額合計	9,557	△4,676
純資産合計	1,301,673	1,215,516
負債純資産合計	1,905,825	1,986,568

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年2月29日)
売上高	688,780	518,101
売上原価	479,019	370,894
売上総利益	209,761	147,206
販売費及び一般管理費	209,473	206,824
営業利益又は営業損失(△)	287	△59,618
営業外収益		
受取利息	3,339	3,326
受取配当金	1,790	1,589
保険返戻金	3,133	24,826
為替差益	3,354	—
その他	3,061	228
営業外収益合計	14,678	29,970
営業外費用		
支払利息	34	357
為替差損	—	14,502
支払手数料	25	76
営業外費用合計	60	14,936
経常利益又は経常損失(△)	14,905	△44,584
特別損失		
固定資産除却損	—	355
特別損失合計	—	355
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	14,905	△44,939
法人税、住民税及び事業税	4,331	1,357
法人税等調整額	8,809	△18,520
法人税等合計	13,140	△17,163
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,764	△27,776
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,764	△27,776

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年2月29日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,764	△27,776
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	988	△10,085
繰延ヘッジ損益	△15,710	△4,148
その他の包括利益合計	△14,721	△14,233
四半期包括利益	△12,956	△42,010
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,956	△42,010
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年12月1日至平成27年2月28日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	エレクトロニクス事業	マリン・環境機器事業	S I 事業	サイエンス事業	
売上高					
外部顧客への売上高	413,892	96,188	148,941	29,758	688,780
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	4,643	—	4,643
計	413,892	96,188	153,584	29,758	693,424
セグメント利益又は損失(△)	18,997	24,412	351	△3,499	40,261

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	40,261
全社費用(注)	△39,974
四半期連結損益計算書の営業利益	287

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年12月1日至平成28年2月29日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	エレクトロニクス事業	マリン・環境機器事業	S I 事業	サイエンス事業	
売上高					
外部顧客への売上高	339,564	48,090	70,301	60,145	518,101
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	17,467	—	17,467
計	339,564	48,090	87,768	60,145	535,568
セグメント利益又は損失(△)	△1,411	2,609	△14,699	△1,832	△15,332

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△15,332
全社費用(注)	△44,285
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△59,618

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 仕入実績

当連結会計年度における仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(千円)	対前期増減率(%)
エレクトロニクス事業	262,603	△9.3
マリン・環境機器事業	25,760	△56.0
S I 事業	—	—
サイエンス事業	52,320	+194.7
合計	340,685	△6.8

(注) 1 セグメント間取引については相殺消去しております。

2 金額は仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

② 受注状況

当連結会計年度における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	対前期増減率 (%)
エレクトロニクス事業	410,492	+37.4	456,078	+6.8
マリン・環境機器事業	123,816	+60.5	246,340	+10.4
S I 事業	133,737	+18.7	253,510	+200.0
サイエンス事業	61,123	+71.3	6,850	△5.6
合計	729,170	+39.1	962,780	+29.8

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当連結会計年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	対前期増減率(%)
エレクトロニクス事業	339,564	△18.0
マリン・環境機器事業	48,090	△50.0
S I 事業	70,301	△52.8
サイエンス事業	60,145	+102.1
合計	518,101	△24.8

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。